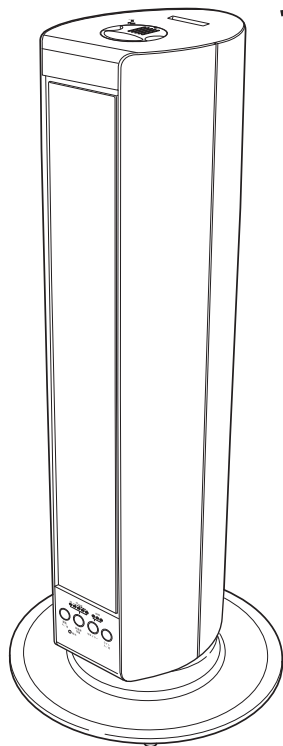


超音波加湿器 KHM-4011

取扱説明書 〈保証書付〉



目次

安全上のご注意	1～3
ご使用にあたってのお願い	3
適した設置場所	4
各部のなまえとはたらき	5～6
リモコンについて	7
ご使用前の準備(ベースを取り付ける)	8
ご使用前の準備(タンクに水を入れる)	9～10
正しい使いかた	11～14
お手入れのしかた	15～16
保管のしかた	17
修理を依頼される前に	18
仕様	19
消耗部品について	19
アフターサービスについて	21
お客様の個人情報のお取り扱いについて	21
保証・無料修理規定	22
保証書	23
お客様相談窓口	23

このたびは、コイズミ 超音波加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。
お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 特に1～4ページの「安全上のご注意」と「ご使用にあたってのお願い」、「適した設置場所」を必ずお読みください。

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。










警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

注意








誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示の例



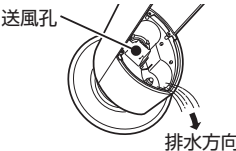

 は、してはいけない「禁止」の内容です	 一般的な禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止
	 ぬれ手禁止	 接触禁止	
 は、必ず実行していただく「強制」の内容です	 必ず行う	 電源プラグを抜く	

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。






警告

	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。		●お手入れの際は必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。感電やけがの原因となります。
	●水槽部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しない。洗剤が残り、有毒ガスが発生する原因となります。		●異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。そのまま運転を続けると火災や感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
	●改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。		●乳幼児の手の届く範囲で使用しない。感電やけがの原因となります。
	●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほごりが付着している場合は拭き取る。ショート・火災の原因となります。		●乳幼児が誤って電源プラグをなめないように注意する。感電やけがの原因となります。
			●AC100V以外では使用しない。（日本国内専用）火災・感電の原因となります。
			●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。感電・ショート・発火の原因となります。 

⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●排水方向から排水する。 排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●吹出口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。 感電やけがの原因となります。 	 
	<ul style="list-style-type: none"> ●ベースを取り付ける前に運転しない。 不安定なため転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水時、電源プラグをコンセントから外してください。 ・排水時、送風孔から水が入らないよう注意してください。 ・排水のしかたは13ページを参照してください。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●使用時以外は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 けがや故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不安定な場所には置かない。 水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。 ショート・感電・発火の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中は本体を動かさない。 水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●移動するときは運転を止め、タンクを抜いて本体の水を捨てる。 水がこぼれて家財などを濡らしたり、水漏れの原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●直接本体内部に給水をしなない。 ショートや感電、故障や水漏れの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクの水、本体内部は、常に清潔にする。 ・タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。 ・本体内部は、定期的にお手入れしてください。汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに、健康を害する原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タンクを落としたり、ぶつけない。 タンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れなどの故障の原因となります。 ●抗菌カートリッジを外した状態で使用しない。 カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●カバーを外したまま運転しない。 水が飛び散り床を濡らしたり、故障の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●使用中はカバーやタンクに手を触れない。 誤動作して、故障や水漏れ、変形の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意



●リモコン用ボタン電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてはいけません。
ボタン電池の破損・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

●指定以外のリモコン用ボタン電池を使用しないでください。
ボタン電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。



●リモコン用ボタン電池は乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一飲み込んだ場合にはただちに医師にご相談ください。

●長期間使用しないときはリモコン用ボタン電池を取り出しておく。
ボタン電池の液漏れで回路がショートし、火災・けが・汚損の原因となります。



ご使用にあたってのお願い

■故障などを防ぐために、必ずお守りください

使用前

- 水道水を使用する
アロマオイル、香水、芳香剤、温水（40℃以上）、洗剤、化学薬品、酸性水、アルカリ水、ミネラルウォーター、井戸水は使用しないでください。
- タンクキャップを必ずしっかり締める
- 本体に直接水を入れない
水が必要以上に供給されて水漏れや故障の原因となります。

使用中

- 吹出口をふさがらない
カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと、異常加熱で変形や故障の原因となります。

- タンクを落としたり、ぶつけたり衝撃を与えない
タンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れの原因となります。
- カバーを外して使用したり、他の用途には使用しない
床を濡らしたり、故障やけがなどの原因となります。

- 運転時はリモコンをリモコン収納部に置かない
リモコンが濡れて、故障・破損の原因となります。

- 使用中はカバーやタンクに手を触れない
使用中、カバーを外したり、タンクを動かすと、水が必要以上に供給されたり、故障や水漏れの原因となります。
あやまって上記の内容を行った場合、水槽部に溜まっている水をすべて排水してから、もう一度セットしてください。
- 加湿しすぎない
加湿しすぎると周囲を濡らしたり、故障の原因となります。
- 凍結に注意する
凍結の恐れがあるときはタンクと本体の水を捨ててください。
凍結すると故障の原因となります。



使用后

- 本体内のお手入れをこまめに行う
お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。
- 保管時は、排水してよく水分を拭き取る
水分が残ったまま長期間保管すると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

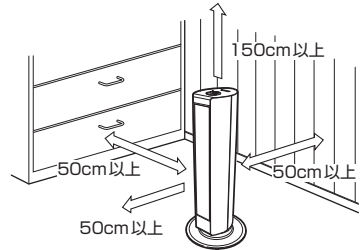
適した設置場所

本機は「超音波」方式を採用している加湿器です。

この方式の性質上、ご使用の環境（温度/湿度）条件により、霧に含まれる水分が周辺に付着することがあります。設置に際しまして以下の注意をよくお読みになり正しくお使いください。

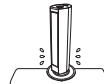
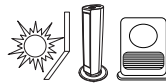
■ 適した設置場所

- 壁やカーテン、家具などから50cm以上、天井から150cm以上離して設置してください。
- エアコンの送風が吹出口に当たらない場所に設置してください。
床面を濡らす恐れがあります。
- 周辺に、吹出口から出る霧をさえぎるものや、湿気に弱いものがないことを確認してください。



■ 次の場所では使用しないでください

- パソコンやテレビ、音響機器、精密機械（携帯電話など）の近く
機器に水分や「白粉」が付着して、故障の原因となります。
誤って倒れたり、誤った使いかたで水漏れをして濡れることがあります。
- 天井・壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなどに吹出口から出る霧が直接あたるところ、およびその近く
濡れてシミになったり、霧に含まれる「白粉」が付着することがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く
変形・変色したり、誤作動することがあります。
- 湿度の高いところ
故障の原因となります。
- 人がよく通るところ
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本機が倒れて水がこぼれたり故障の原因となります。
- カーペットやふとんなどの上
不安定な場所に置くと水がこぼれたり誤作動や故障の原因となります。
- ベット脇など就寝中に手が届く場所
誤って倒れてしまい、周囲を濡らすことがあります。

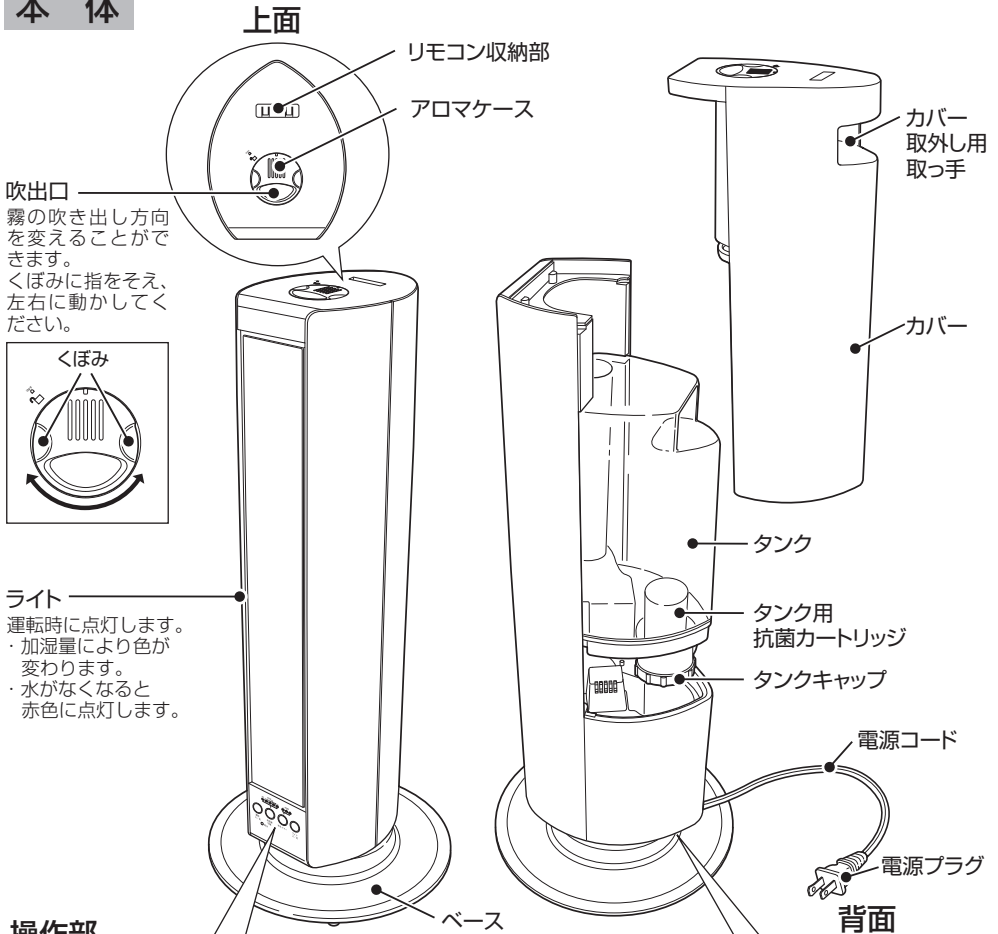


■ 白粉について

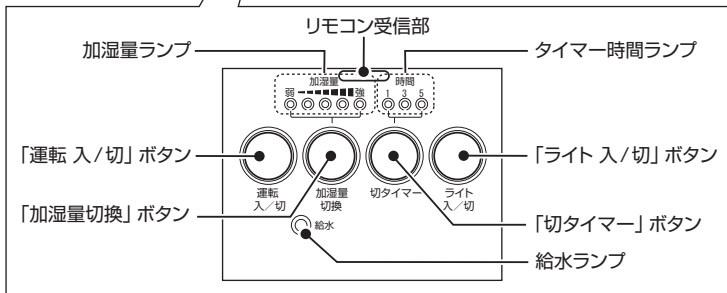
霧の蒸発に伴ない機器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、発生する霧（水道水）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分です。有害なものではありませんが、テレビや家具などに付着することがあります。付着したときはやわらかい布などで早めに拭き取ってください。

各部のなまえとはたらき

本体



操作部



リモコンについて

ご使用前に、付属のボタン電池 (CR2032) を入れてください。

■ボタン電池の入れかた

- ①リモコンの背面の電池カバーを引き出す。
※ツメを押しながら引き出してください。
- ②ボタン電池 (CR2032) を⊕側を上にして電池カバーにセットする。
- ③電池カバーを閉める。

ご注意

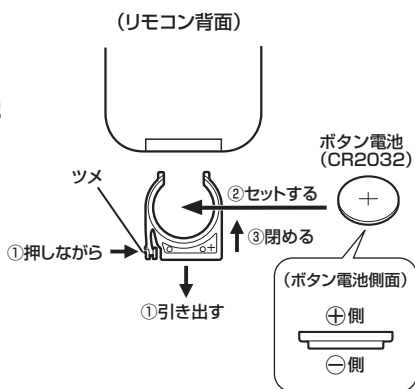
ボタン電池の破損・液漏れ防止のために次のことをお守りください。

- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- プラスとマイナスは正しく入れてください。
- 火や水の中への投入や、分解、加熱などはしないでください。

●リモコンのボタン電池の交換目安

ボタン電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅いなどの現象が生じます。

このようなときは新しいボタン電池と交換してください。



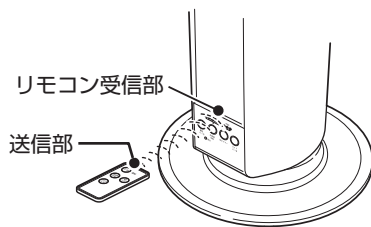
■リモコンの使いかた

リモコンのボタンは本体の操作ボタンと同様に使用できます。

送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

(使用可能範囲：本体から約3m・約30度)

※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。



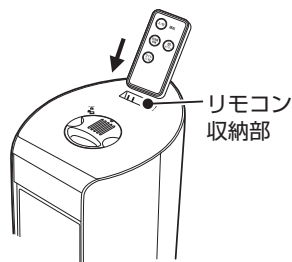
■リモコンの収納

リモコンは本体上面に収納できます。

リモコンの操作面を手前に向け、差し込んでください。

※運転時はリモコンをリモコン収納部に置かないでください。

リモコンが濡れて、故障・破損の原因となります。



ご使用前の準備 (ベースを取り付ける)

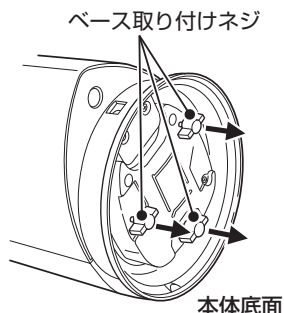
⚠ 警告

- ベースを取り付ける前に運転しない。
本機が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

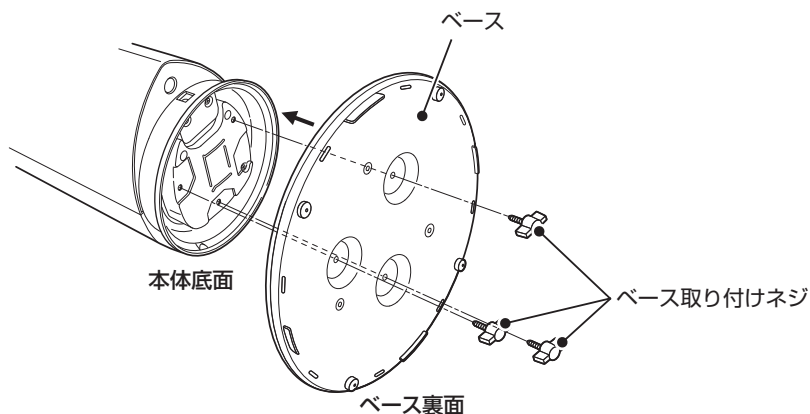
- 1 本体を横向きに寝かせ、本体底面に取り付けてあるベース取り付けネジを外します。

ご注意

- 外したネジは失くさないように注意してください。



- 2 本体とベースのネジ穴を合わせて、ベース取り付けネジで本体にベースを取り付けます。



ご注意

- ベースの表裏を間違えないように注意してください。
- ネジはしっかりと締め付けてください。
本体とベースがしっかりと固定されていないと、不安定なため、水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因となります。

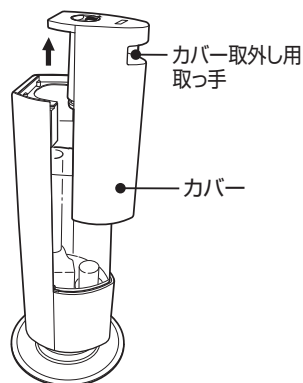
ご使用前の準備 (タンクに水を入れる)

1 カバーを本体から外します。

カバー取外し用取っ手を持って、
上方向に外してください。

ご注意

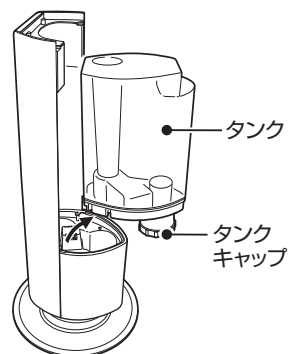
- 再度給水する場合、カバーを本体から外すと、タンクとの接続部から水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。



2 タンクを本体から外します。

ご注意

- 再度給水する場合、タンクを本体から外すと、タンクキャップから水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。



3 タンクキャップを外し、 タンクに水道水 (飲用) を入れます。

ご注意

- 水道水 (飲用) 以外は使用しないでください。
アロマオイルや芳香剤、香水、温水 (40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、浄水器の水やミネラルウォーター、井戸水などは、絶対に入れないでください。
変形、故障、カビや雑菌の繁殖の原因となります。
- タンクから水があふれないように注意してください。



●加湿運転可能時間について

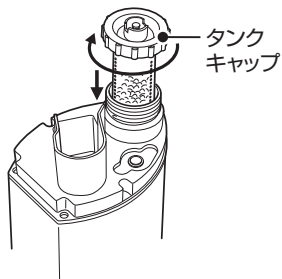
タンク1杯分の水で約8時間の連続加湿運転が可能です。
(強 (400ml/h) 運転 / 室温20℃の場合)

4 タンクキャップをタンクにしっかり取り付けます。

締めたあとに、タンクキャップを下にして2～3回軽く振り、水漏れがないか必ず確認してください。

ご注意

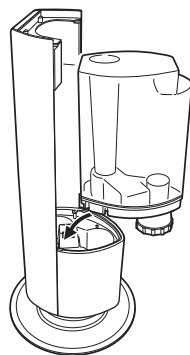
- タンクキャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられていると、水漏れすることがあります。



5 タンクを本体に取り付けます。

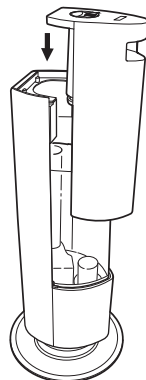
ご注意

- タンクを差し込んだあとは、タンクの抜き差しを繰り返したりしないでください。水漏れや故障の原因となります。



6 カバーを本体に取り付けます。

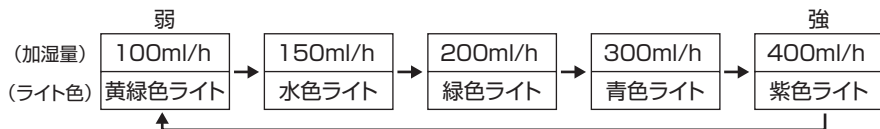
運転前に、カバーが本体に確実に取り付けられていることを確認してください。



正しい使いかた

■ 運転する

- 1 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
コンセントに差し込む前に保護キャップを外してください。
- 2 「運転 入/切」 ボタンを押して、電源を入れます。
ライトが点灯し、霧が吹出口より出はじめます。
- 3 「加湿量切換」 ボタンでお好みの加湿量に調節します。
押すごとに加湿量とライトの色が以下のように切り換わります。



※ 運転をはじめた直後は霧が安定しないことがあります。30分ほど運転を続けると徐々に安定してきます。
※ 部屋の環境により、「弱」の設定時は霧が見えにくい場合があります。

ライトを消したいときは

「ライト 入/切」 ボタンを押します。

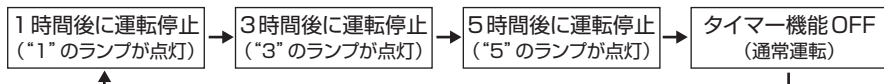
ライトが消灯します。

● 再度「ライト 入/切」 ボタンを押すと、ライトが点灯します。

タイマー機能を使用するときは

「切タイマー」 ボタンを押します。

押すごとに以下のように切り換わります。



● タイマー時間ランプは、残り時間に応じて切り換わります。
(例：5時間タイマー設定時に2時間経過すると、「3」のランプが点灯します。)

ご注意

- 運転中は本体を動かさないでください。またカバー
取外し用取っ手に手をかけたりしないでください。
カバーやタンクが外れて水がこぼれ床を濡らしたり、
送風孔から水が入り故障や水漏れの原因となります。



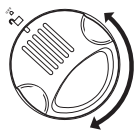
■ 運転を停止する

- 1 「運転 入/切」 ボタンを押して、電源を切ります。
ライトが消灯し、霧がとまります。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。

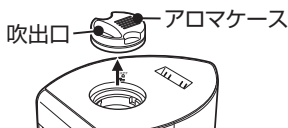
■アロマオイルを使用する場合

1 アロマケースを吹出口から取り外します。

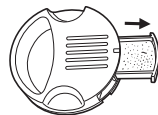
①吹出口をまわして、本体のマークと合わせます。



②アロマケースと吹出口の部分を本体から外します。



③アロマケースを引き出します。



2 アロマケース内のフェルトにアロマオイルを染み込ませます。

アロマケースのフェルトから、アロマオイルが外側にこぼれないよう注意しながら2～4滴フェルトに染み込ませます。アロマオイルは天然抽出物(100%)を使い、香水や合成香料などは使用しないでください。



ご注意

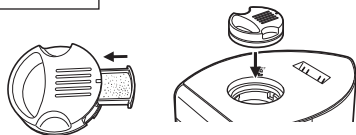
- タンクや本体には絶対にアロマオイルを入れないでください。破損の原因となります。
- アロマオイルが本体に付着したらすぐに拭き取ってください。本体が破損する恐れがあります。
- アロマケースにアロマオイルを入れるときは、必ずアロマケースを本体から外してください。
- アロマオイルを入れすぎるとこぼれる場合があります。
- アロマオイルがアロマケースの外側に付着した場合は必ず拭き取ってください。
- アロマオイルは必ずアロマケース内のフェルトに染みこませてお使いください。

アロマオイルについて

- アロマオイルは天然抽出物(100%)をお使いください。
- アロマオイルの取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- アロマオイルの使いすぎにご注意ください。気分が悪くなった場合は、使用を中止してください。
- アロマオイルの香りによってアレルギー症状が出た場合は、使用を中止して、医師にご相談ください。
- 香水などは入れないでください。

3 アロマケースをセットし、吹出口を本体に取り付けます。

運転を停止していることを確認のうえ、手順1と逆の順番で取り付けてください。



香りの違うアロマオイルに変える場合は

- ①アロマケースからフェルトを取り出し、アロマケースを中性洗剤などでよく洗います。
 - 洗ったあとは、水分が残らないようにやわらかい布で拭き取ってください。
- ②付属の交換用フェルトをアロマケースにセットし、手順2～3に従ってお使いください。
 - フェルトはアロマケースにもともとセットされているもの以外に2個付属しております。必ず付属のフェルトをお使いください。

正しい使いかた

■水が少なくなったら

加湿運転中に水が少なくなると、給水ランプが赤く点滅します。

水がなくなると、給水ランプとライトが赤く点灯し、自動的に加湿を停止します。(ランプ点滅から点灯(水がなくなる)まで、「強」運転時約5分です。)

「運転 入/切」ボタンを押して、電源を切ってください。

- 続けてご使用になる場合は、9～10ページの「ご使用前の準備(タンクに水を入れる)」を参照し、タンクに給水してください。
- 水がなくなる直前に給水ランプとライトが赤色に点灯したり、霧の吹き出しが不安定になることがあります。故障ではありません。
- 給水ランプとライトが赤色に点灯しているときは、水位センサーにより加湿を停止しています。この状態で本体を動かすと、振動子が作動して周辺を濡らすことがあります。排水は必ず電源を切ってからおこなってください。また、この状態では「運転 入/切」以外の操作はできません。

※タンクに水を入れて本体にセットしても給水ランプが点灯する場合は、タンクをゆっくり持ち上げ、再度本体にセットしてください。

■排水のしかた

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

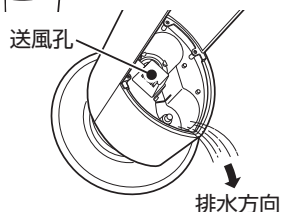
2 カバーとタンクを本体から外します。

- カバーやタンクを外すときは、安定した場所で本体をしっかり固定してください。固定が弱いと、カバーやタンクを外した反動で中の水が飛び散ることがあります。
- タンクキャップを上にして、タンクを持ち運んでください。



3 本体を図の方向にかたむけて排水します。

- 排水のあと、本体に付着した水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
排水方向を誤ると、送風孔から水が入り内部の電気部品に水がかかりショートや故障の原因となります。



⚠ 警告

- 排水時は必ず電源プラグをコンセントから抜く。

ショートや感電の原因となります。

- 必ず排水方向から排水する。

排水方向を誤ると、ショートや故障の原因となります。

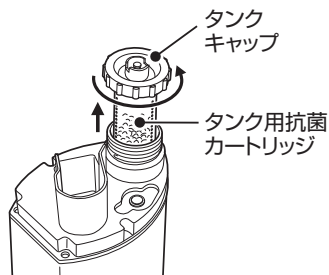
- 送風孔から水を入れない。

排水時など送風孔から水が入らないように十分注意してください。内部の電気部品に水がかかり、ショートや故障の原因となります。

■抗菌カートリッジの交換のしかた

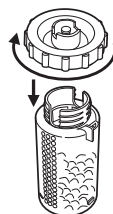
●タンク用抗菌カートリッジ

1 タンクキャップを回して、タンクからタンクキャップと抗菌カートリッジを外します。



2 タンクキャップを外して新しい抗菌カートリッジを取り付けます。

タンクキャップをしっかりと締め付けてください。

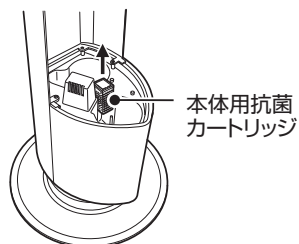


3 タンクに取り付けます。

●本体用抗菌カートリッジ

水槽部から外し、新しい抗菌カートリッジを取り付けます。

くぼみを下にして取り付けてください。



抗菌カートリッジは、タンクまたは水槽部の中の水を抗菌するものです。カートリッジ内の抗菌粒に触れても人体や動植物には無害です。

ご注意

- 抗菌カートリッジを外すとき、水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。
- 抗菌カートリッジを外した状態で運転しないでください。
- 乳幼児の手の届かない範囲でご使用ください。
- カートリッジ内の抗菌粒を取り出さないでください。
- 抗菌粒を直接口に入れたり飲んだりしないでください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約1年間です。(ただし使用頻度により異なります。)

お手入れのしかた

ご使用にならないときは、必ずタンクや本体の水を捨ててください。
梱包時、お手入れブラシはカバーの内側に付属しております。(6ページ参照)

⚠ 警告

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

■本体

本体外側は、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

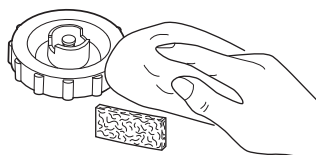
- 本体の丸洗いはしないでください。
感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。
変質・変色の原因となります。



■タンクキャップ・吸気口フィルター

流水で水洗いし、やわらかい布で拭き取ります。

- ・タンクキャップの細部の汚れは付属のお手入れブラシで取り除いてください。



■タンク

水を入れてタンクキャップを閉め、2～3回振り洗いします。

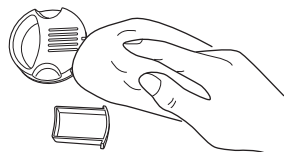
- ・タンクの洗浄は毎日行ってください。
- ・タンクを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。
- ・温水(40℃以上)は使用しないでください。



■アロマケース

フェルトを取り出し、中性洗剤などでよく洗い、やわらかい布で拭き取ります。

- ・残り香が気になる時は何回か繰り返してください。

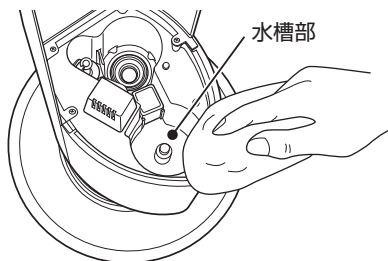


■振動子・水位センサーなど

1週間に1～2回以上の頻度で洗浄してください。

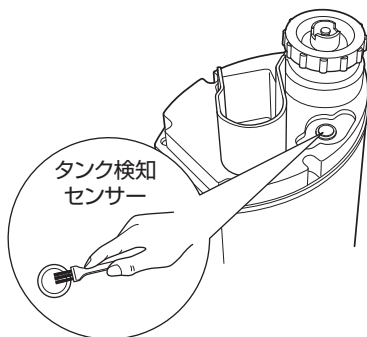
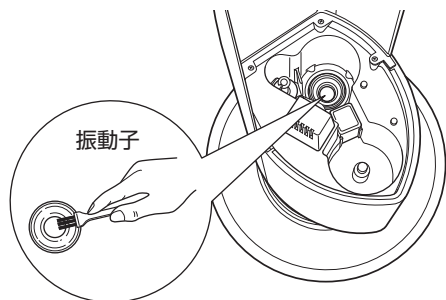
●水槽部

- ・水を浸したやわらかい布で付着した汚れを拭き取ってください。
- ・細部の汚れは、付属のお手入れブラシで落としたあと、やわらかい布で拭き取ってください。



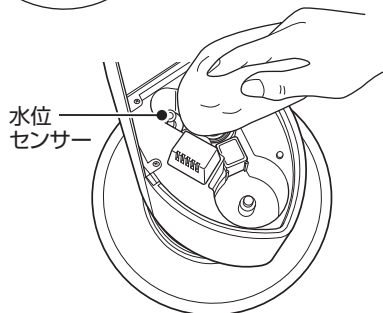
●振動子・タンク検知センサー

- ・振動子やタンク検知センサーの表面に付着した汚れは、手で触れず付属のお手入れブラシを軽くあてて落としたあと、やわらかい布で拭き取ってください。



●水位センサー

- ・水位センサーの周りに付着している汚れやゴミなどを付属のお手入れブラシで落としたあと、やわらかい布で拭き取ってください。
- ・水位センサーを強く押しついたりしないでください。



お願い

- 振動子やタンク検知センサーの表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのたわしやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因となります。
- 水位センサーは定期的にお手入れしていただき、いつも清潔な状態にしてお使いください。
数日間お使いいただきますと、水位センサーの周辺に水道水のミネラル成分が結晶(汚れ)となって付着してきます。
このような状態のまま使いつづけますと、水位センサーが誤動作して振動子の故障の原因となります。
付属のお手入れブラシで付着した結晶(汚れ)を落としてください。

保管のしかた

- お手入れしたあと、水分を拭き取り、よく陰干ししてください。
- よく陰干したあと、本体内や抗菌カートリッジなどに残り水がないことを確認してください。
- 本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、湿気の少ないところに保管してください。

注意

- お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管する。
汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因となります。

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた
霧が出ない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていま すか?	電源プラグをしっかり差 し込んでください。 11ページ
	●給水ランプやライトが赤色に点灯していませんか? (水が少なくなっていますか?)	水を補給してください。 13ページ
霧の出が悪い	●振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませ んか?	付属のお手入れブラシを 使用し、振動子をお手入 れしてください。 16ページ
	●吸気口をふさいでいませんか?	吸気口をふさがなくて ください。 —
	●運転をはじめた直後ではありませんか?	加湿量を「強」にしてく ださい。 11ページ
水が漏れる 水が溢れる	●タンクにタンクキャップがしっかり取り付けられて いますか?	タンクキャップをしっか り取り付けてください。 10ページ
給水ランプやライト が赤く点灯したりし なかつたりする	●水が無くなる直前ではありませんか? (水位の変動により給水ランプやライトが赤色に点 灯することがあります。)	故障ではありません。 —
ブーンと音がする	●モーターが回転する音です。	故障ではありません。 —
水槽部の水が 白くにごる	●抗菌カートリッジの成分が溶け出し白くにごること があります。	異常ではありません。 —

仕様

型番	KHM-4011	外形寸法	約幅280×奥行280×高さ652mm
電源	AC 100V	質量	約3.4kg
加湿量	強：約400ml/h 弱：約100ml/h	付属品	リモコン・ボタン電池 (CR2032)×1個・ ベース取り付けネジ×3本・お手入れブラシ・ 交換用フェルト (KHM-023)×2個・ 交換用吸気口フィルター (KHM-041)×1個・ 取扱説明書 (本書：保証書付)
タンク容量	約3.2ℓ		
連続加湿時間	約8時間 (強運転時)		

※加湿量：連続加湿時間は、室温20℃の場合です。

※加湿量：連続加湿時間は、室温や湿度環境、壁、床の材質、部屋の構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	品番
タンク用抗菌カートリッジ*	KHM-031
本体用抗菌カートリッジ*	KHM-032
交換用フェルト	KHM-023
交換用吸気口フィルター	KHM-041

※抗菌カートリッジの交換時期の目安は約1年です。ただし、使用頻度により異なります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。


3. 補修用性能部品の保有期間

- 超音波加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の超音波加湿器の点検を！	
	このような症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">●水漏れする。●電源コードを動かすと、途中で止まる。●運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。●本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。●その他の異常や故障がある。	ご使用中止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

超音波加湿器

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KHM-4011		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様	お名前	様	
	ご住所		
販売店	店名・住所・電話		

見本

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2021年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)